グローバル・エコシステム価値構想図

世界規模の並列計算と現実世界での実行を支える基盤

世界の力。地域の成果。ともに前進。

HSIMC は、人の意図を中心に、地域や組織を越えて能力をつなぐ基盤を構築しています。世界規模の並列計算と現実世界での実行により、適した作業を同時に進め、明確に引き継ぎ、人々が暮らし、働く場所に役立つ成果を届けられます。

どの地域も、必要なことを伝え、能力を提供し、役立つ成果を受け取れます。

四つの能力群

知能と計算 · センシングと状況情報 · 人と専門性 · ツールと実行

計算、観察、専門的な判断、現場での作業は、同じタスクに貢献できます。個人、小規模事業者、学校、コミュニティ、大きな組織も、能力を提供したり、支援を求めたり、複数の役割を担ったりできます。

人に価値をもたらす六つの領域

日常生活とサービス · 学びと創造 · 製作と保守 · 商取引と文化 · コミュニティと包摂 · 環境と資源

これらの領域には、役立つサービス、学び、参加、文化への理解、責任ある資源利用など、経済的・社会的価値を生む機会があります。その価値は、実際の成果を通じて示す必要があります。

意図から、受け入れられる成果提供へ

人の意図 · 契約と役割 · 現地での成果提供 · 証拠・記録 · 受入れ · 条件付きの再利用

意図は、望む成果とその制約を示します。契約には、責任、権限、入力、引継ぎ、成果物、受入れ基準を記録します。参加者は合意した作業を実行し、各成果提供に証拠・記録を結び付けます。証拠・記録には、関連する出所、条件、過程、結果を残します。権限を持つ当事者が指定された対象とバージョンを確認し、受け入れるか、修正を求めるか、追加作業を依頼するかを決定します。受入れは、責任を負う当事者による判断です。ここでいう契約は、作業を組織するための合意を意味し、商業上・法的に適切な形式は各実装で定めます。

次の仕事へとつながる価値

参加する地域が増えると、新しいニーズや成果を提供する場が加わります。能力が増えると、新たな組合せが可能になります。完了した仕事からは、その後の仕事に役立つ手法、構成要素、証拠・記録が残ります。再利用の際には、適用可能性、権限、現在の対象とバージョン、過去の知見が無効になる条件を確認します。必要であれば追加の検証を手配します。これが価値を積み重ねる土台になります。実際に得られる価値は、現実の需要、利用できる能力、現地の条件、成果提供の経済的な成立性によって決まります。

できることを一つ持ち寄り、実際の成果につなげよう。

人の決定権 · 地域の能力 · 世界からの参加

ともにつくる、開かれたエコシステムの構想です。参加と実装には、それぞれに適用される条件があります。

INSTANT READY PAVILION
現行館
instantready.live

Ready to Fit. Ready to Work.

ニーズに応える準備。実行する準備。

スキャンして詳しく見る。

NFC タグ位置
25 mm
使用前に書込み

https://hsimc.tech/whitepaper/global-value/